

3. 企画展示事業（平成25年度の展覧会）

（2）第62回企画展「百人一首かるたの世界」の結果について

〔会 期〕 平成25年10月5日（土）～11月17日（日） 〔開館日数〕33日間

〔会 場〕 大津市歴史博物館 企画展示室A・B

〔観覧料〕 一般1,000円（800円） 高大生500円（400円） 小中生無料

〔主 催〕 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞社

〔共 催〕 NHK 大津放送局

〔後 援〕 近江神宮・BBC びわ湖放送・エフエム滋賀・エフエム京都

〔展示作品〕 121件 約4,000点

〔入館者数〕 2,905人

◇有料観覧者 1,184人

個人744人＋7人（身障者・介護者）＋86人（高齢者）、団体347人

◇その他観覧者 1,721人

小中生（無料）310人、歴博カード会員192人、招待1,219人

〔関連講座〕 10月20日（日）百人一首競技かるた“名人”として目指したもの

講師：西郷 直樹（永世名人） 参加人数 42人

10月26日（土）百人一首歌仙絵の楽しみ

講師：吉海直人（同志社女子大学教授・時雨殿館長）参加人数92名

11月3日（日）動物・鳥類・花卉図鑑として楽しめたかるた

講師：横谷 賢一郎（本館学芸員） 参加人数 62名

11月10日（日）私を支えた競技かるた

講師：渡辺 令恵（永世クイーン） 参加人数 32名

〔図録販売数〕「百人一首かるたの世界」 A4版48頁オールカラー 1,000円 296冊（2月末時点）

〔展覧会の成果と問題点〕

【内容面】

- ・かるたの伝来から現在までの歴史を通観できる構成とし、過去にない大規模なかるたに関する展覧会を開催できました。
- ・百人一首かるた以外の作品を多く展示することで、教養品や婚礼道具として用いられた側面を表現できました。また、近代以降の百人一首かるたについては、これまでほとんど展示されておらず、展示することで、かるたの奥深さを知っていただく事ができました。

【広報面】

- ・びわ湖大津観光協会の観光キャンペーンとのタイアップにより、多くの媒体に告知することができました。ただし、細部等を事前に打合せすることで、より効果的に告知ができたように思われました。
- ・新聞については、ほぼすべての新聞社に取り上げられました。雑誌等への掲載についても多く、テレビでは、NHKを中心に、数多く放映されました。

【集客・販売面】

- ・会期中を通して入館者数が目標を下回りました。原因としては、注目資料を挙げられなかったことや、かるたという素材が身近すぎるテーマであったことなどが考えられます。
- ・「ちはやふる」の原画の展示や、競技かるたの歴史等の展示によって、競技かるたに取り組む子どもたちを中心に、通常の展覧会ではあまり見られない、小学生の観覧者が多く見受けられました。

〔アンケート〕

- ・展示品がたくさんあり、見応えがあった。(37歳)
- ・札が時代によってちがうことにおどろき、魅了された。(13歳)
- ・「ちはやふる」がよかった。(12歳)
- ・昔のかるたの札や、ローマ字で書いてあるかるたを見れてよかったです。(11歳)
- ・昔のかるたの札や、競技かるたの歴史が知れてよかった。(13歳)
- ・百人一首に子供が興味をもっており、大変勉強になったと言っていました。(10歳)
- ・様々な種類の百人一首を一度に見れてよかった。(大阪府 14歳)
- ・色々なカルタがあるのにびっくりしました。(京都府 55歳)
- ・企画展はほぼすべて見ています。今回は面白かったです(特に)。雑誌や新聞のふろくのかかるたよく残っていましたね。

またよく探されましたね。(73 歳)

- ・今回のような百人一首かるた展をまたしてほしいです。「ちはやふる」ブームで子どもも多いかと思いますので、その際はお姫さまの顔出しパネルがあると嬉しいです。(32 歳)
- ・百人一首それぞれの意味も添えていただけたらわかりやすく良かったのでは？(50 歳)
- ・今まで見たこともないような種類のかるたがたくさん見られて良かった。(13 歳)
- ・一部照明が暗くて、展示物がよく見えないところがあった。(京都府 70 歳)

[反省点と今後について]

かるたに関する展覧会は、過去に大規模なものなかったことに加えて、当館のテーマとしても、あまり手掛けたことのないものでした。展示内容については、当初の目標以上のものが出来、観覧者の満足度も高いものでした。ただし、広報面においては、観覧したいと思わせる魅力を十分に伝えられませんでした。今後は、内容面だけでなく、広報面での工夫を強く意識していきたいと思います。